

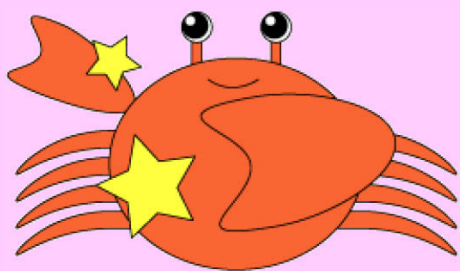
「星」の本

福岡県立図書館 青少年コーナー



7月のおすすめ

すべて貸出できます。
貸出されていたら
予約も受け付けています！



年に一度、織姫と彦星が会うことができる7月7日を「七夕」と呼び、この日には笹に願い事を書いた短冊を吊るすのがならわしとなっています。

実は、この七夕の日が晴れるのは3年に一度程度ということなので、どうやら織姫と彦星はなかなか会えないようです。

そんなふたりのために、今年の七夕では短冊のほかにてるてる坊主を吊るしてみるといいかもしれません。もしかしたら、そんなあなたのために願い事をかなえてくれるかも？

というわけで、今月は「星」に関する本をお届けします。



『アンナの土星』
益田 ミリ / 著
メディアファクトリー
FAC1777/1

小倉アンナは十四歳。両親と大学生の兄との四大家族。星好きの父に影響され、兄は大学で星の勉強をしている。そのせいか、ファッションや食べることには無頓着。それでも、日本人三人がノーベル賞を取った時も、「胸がいっぱいで夕飯はいらない」という少し他の人と違う兄のことが、アンナはけっこう好きなのだ。

兄は、夜になるといつもベランダに設置した天体望遠鏡で星を見ている。アンナも、兄に話したいことがあると、ベラ

ンダで星を見るふりをしながら、兄といろいろ話す。学校のこと、友達のこと、両親のこと…。何も劇的なことは起こらない日常だけど、同じ一日は一度としてない。

十代の少女達の日常をおさめた一冊です。



『カナスピカ』

秋田 禎信／著

講談社

E/P 223/1

他人から嫌われるのがイヤで口を出すのをやめたり、年に1回の仕事だけですむからという理由でプール委員になったり。あ、でも、携帯電話は持っていないけど。

そんなごく普通の中学生の加奈の目の前に現れたのは、高度2万6499キロの宇宙から落ちてきた、普通とはほど遠い少年「カナスピカ」だった。カナスピカは人工衛星で、ホントは3万年にわたって地球を観測しなければならないのだけれど、隕石の衝突によってたった50年で地球に墜落してしまったというのだ。

カナスピカに出会ったその日から加奈は彼を宇宙に戻すべく奮闘するのだが、そんなふたりを「稲牟田市役所 宇宙人対策室」というアヤシイ名刺を持つ、サンガラスに黒のスーツの男たちが追いかけてはじめて事態はややこしいことに。そして、ついに加奈とカナスピカは誘拐されて人里離れた山小屋に連れ去られてしまう。

はたして、ふたりの運命は？そして、カナスピカは再び宇宙に帰ることができるのか？



『宇宙への秘密の鍵』

ルーシー&スティーヴン・ホーキング／著

岩崎書店

933//211

空を見上げるのが大好きな男の子、ジョージ。ある日、となりの家を覗いた事がきっかけで、ジョージはなんと宇宙を体験します！

星はどうやって生まれるのか、どうして火星は赤いのか、色々な体験を通して宇宙のことを少しずつ学んでいくジョージ。

著者は、「車椅子の天才物理学者」として知られるホーキング博士と、その娘で作家のルーシー・ホーキング。科学的根拠に基づいていながら、物語の面白さを損なうことなく書かれたこの本は、きっと皆さんを宇宙の彼方に連れて行ってくれるでしょう。



『江戸の天文学者 星空を翔ける』

中村 土／著

技術評論社

440/2/43

オランダで望遠鏡が発明されたのは、1600年代前半だといわれています。そしてその数年後には早くも日本に伝来しており、鎖国状態だった当時の状況を考えると、科学面で

の知識や技術の導入には積極的であったことがうかがえます。そして、この望遠鏡の伝来が数多くの在野（公職に就かず民間で活動する人物や団体）の天文家を生み出し、ひいてはその優れた天文暦学によって精密な日本地図の測量で知られる伊能忠敬らを生み出すきっかけともなりました。

この本は、そんな江戸時代を通して発展した、日本の天文学の歴史を知ることができる一冊です。



『宇宙のみなづい』
森 絵都／著
理論社
F/E75/3

自力でのぼった屋根の上から空をあおぎ見ると、月も星も雲もまるごと自分たちのものにしたような気分にあひたること
ができた。

「真夜中の屋根のぼり」という秘密の遊びを見つけた陽子とリンの兄弟。陽子にとって、弟リンは生まれながらの遊び仲間だった。だが、やがて、思いがけない仲間がこの遊びに加わることになるなんて…。

そして、屋根のぼりを通して何かに気づいた仲間たち。

本当にしんどいとき、だれでもひとりで切りぬけないといけない。だからこそ必要なのは手をつないで、心の休憩ができる友達の存在。

十代のみなさんをはじめ、中学生だったあの頃を思い出しながら、大人にも読んでほしい物語。



『星とトランペット』
竹下文子／著
ブッキング
913/575/5

疲れた旅人がある町に立ち寄ったとき、変わった呼び声を聞いた。「お月さんはいかがが……」（『月売りの話』）

トランペット吹きがコンサートの帰り道、何かを拾い歩く不思議な男に出会う。男が拾っていたのは、なんと星だった。

（『星とトランペット』）

開店したてでお客が来ない本屋の店主はビラを作り、紙飛行機にして飛ばした。翌日、やっと来たお客は人間ではなくて……（『タンポポ書店のお客さま』）

幻想的で、少し切なくなるようなお話が詰められた、珠玉の短編集です。

以上六冊を「星」というテーマで紹介しました。これ以外にも、「星」の本をたくさん揃えています。ぜひ、ご利用ください。また、同時に「手紙」をテーマにした本も集めています。「青少年と暮らしの交流室」（青少年コーナー）でお待ちしています。

「星」の本 展示資料リスト (いずれも貸出可)

No.	資料 I D	書名	著者名	出版社	出版年	請求 記号
1	1107482669	アンナの土星	益田/ミリ 著	メディア ファクト リー	2009. 11	F マ177 1
2	1106742394	カナスピカ	秋田/禎信 著	講談社	2007. 6	F ア223 1
3	1106563089	宇宙への秘密の鍵	ルーシー・ ホーキング 作	岩崎書店	2008. 2	933 211
4	1106985781	江戸の天文学者星空を 翔ける	中村/士 著	技術評論社	2008. 7	440 2 43
5	1106426824	宇宙のみなしご	森/絵都 作	理論社	2006. 6	F モ75 3
6	1105512396	星とトランペット	竹下/文子 著	ブッキング	2004. 2	913 タケン S
7	1105488470	星をまく人	キャサリン・ パターソン 著	ポプラ社	2003. 7	930 ハタリ
8	1104752520	星の王子さま	サン=テグジュ ペリ 作	岩波書店	1963	950 サンテ S
9	1105649927	星空から来た犬	ダイアナ・ ウィン・ ジョーンズ 著	早川書房	2004. 9	930 ジョン S
10	1105518413	星を数えて	デイヴィッド・ アーモンド 著	河出書房新 社	2006. 3	930 アモン
11	1107046920	星虫年代記(クロニク ルズ) 1, 2	岩本/隆雄 著	朝日新聞出 版	2009. 2	F イ307
12	1106443274	星のきほん	駒井/仁南子 著	誠文堂新光 社	2007. 4	443 18
13	1107003929	夜の光	坂木/司 著	新潮社	2008. 10	F サ173 7
14	1107054953	今夜も宇宙の片隅で	笹生/陽子 著	講談社	2009. 7	F サ154 3
15	1107072785	アイの物語	山本/弘 著	角川書店	2006. 5	F ヤ131 1

「星」の本
展示資料リスト (いずれも貸出可)

No.	資料 I D	書名	著者名	出版社	出版年	請求 記号
16	1107010468	七つの海を照らす星	七河/迦南 著	東京創元社	2008. 10	F ナ201 1
17	1106778123	星空案内人になろう!	柴田/晋平 ほ か著	技術評論社	2007. 10	442 35
18	1107003830	あの星はなにに見える?	出雲/晶子 著	白水社	2008. 6	443 8 51
19	1106774391	星と宇宙を知りつくす 本	小野/夏子 著	インデック ス・コミュ ニケーショ ンズ	2007. 8	440 134
20	1106992138	天体の回転について	小林/泰三 著	早川書房	2008. 3	F コ102 8
21	1106521941	星座の事典	沼澤/茂美 著	ナツメ社	2007. 8	443 8 48
22	1106427093	精霊の木	上橋/菜穂子 作	偕成社	2004. 6	F ウ93 2
23	1107054751	ALMA電波望遠鏡	石黒/正人 著	筑摩書房	2009. 7	442 3 24
24	1106779620	はるかな146億光年の 旅	川端/潔 著	オーム社	2006. 9	440 135
25	1106506320	星空放送局	中村/航 作	小学館	2007. 11	F ナ169 6
26	1106152036	かならず見つかる星座 の本	藤井/旭 著	偕成社	2006. 3	443 8 43
27	1107461424	宙(そら)のまにまに天 体観察「超」入門	柏原/麻実 著	講談社	2009. 8	442 39
28	1106832825	宇宙旅行ガイド	福江/純 責任 編集	丸善	2005. 12	440 143
29	1107474662	モマの火星探検記	毛利/衛 著	講談社	2009. 10	F モ104 1